福祉用具(問題数:34　　156点満点)

解答にあたっては、すべての設問において利用者負担の費用に関しては考慮しなくてよい（利用者は経済的に困っていないと想定する）。また、利用可能な介護保険サービスには余裕があると想定して構わない。

1. ベッド関連

【設問１】

パラマウントベッドの新楽匠（KQ-86 シリーズ）に関する次の記述について、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①身長方向の大きさに関して、レギュラーサイズとミニサイズがあるが、それぞれの大腿長に相当するボトム部材の長さが異なる。（　　）

②身長が高い場合（概ね 175cm 以上）には延長フレームを利用すれば 140mm 程長くすることができる。パラケアマットレス、プレグラーマットレス、クレーターマットレスの３種類はこの長さに相当するマットレスが準備されている。（　　）

③背上げ時に腹部や胸部の圧迫を防止するために、ベッドボトムの大腿に相当する部材と体幹に相当する部材との角度が、ある一定の角度以上にならないように制限するシステム（挟角制限）があり、この制限角度は 90～120 度の範囲で調節できる。（　　）

④オプションを準備すれば過去の動作履歴を６０件まで記録することができ、ケアプランの妥当性や介助者の使い方などを検証する客観的なデータを得ることができる。（　　）

【設問２】

シーホネンス生活支援ベッド（CORE-883RW）に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①このベッドでは膝を上げると足先が下がるが、膝だけを上げたい（足先を下げたくない）利用者には、シーホネンス商品ならばナチュラルラインベッド　コアの中から選定する。（　　）

②このベッドでは背を上げるとベッド柵も一緒に上がってくるが、これは主として背上げ時に体幹バランスを崩して側方へ落下することを防止する目的で利用する。（　　）

③大腿部に相当する長さが２種類準備されており、身長に応じて選択する。短い部材を選択する基準は身長が概ね 150～155cm 以下である。（　　）

④このベッドでは背上げのスイッチと膝上げのスイッチを同時に押せば二つの機能が同

時に駆動できる。したがって、背を上げるときにパラマウントベッドの「らくらくモーション」のような動きをスイッチ操作で行うことができる。（　　）

⑤ボトム構造はプラスティックの成型でできている。したがって夏場には若干むれやすいが、寒いときには有利である。（　　）

【設問３】

アイシン精機およびフランスベッドに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×を記入せよ。

①アイシン精機ジャストベルグランド単機能昇降タイプはすべての電動昇降機能付きベッドの中でボトム高さを最も低くできるベッドである。（　　）

②アイシン精機ジャストベルグランドおよびベルグランドのマットレス幅は 1,000㎜ を標準に扱っている。（　　）

③ヒューマンケアベッド（フランスベッド）のベッド柵受けは不要のときには折り畳むことができる。この機構はマットレスに車いすなどを隙間なく近づけることができたり、介助者がより近づけるという利点がある。同様の機構（柵を利用しないときに内側に収納できる）は新楽匠、ジャストベルグランドなどにもある。（　　）

④フランスベッド　ヒューマンケアベッドのボトム構造は鋼線を溶接しており、背板が２分割されていて、全体が５枚で構成されている。（　　）

【設問４】

ベッドの使い方に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×を記入せよ。

①ベッド柵を使用する目的には、身体や布団の落下防止、寝返りや起き上がりの補助などがあるが、差し込んだだけのベッド柵は後者の目的には使用できない。そのような目的で使用するときはネジなどで固定できる柵を利用する。（　　）

②一般的にベッドの膝を上げている状態で介助者が膝機構近辺に座り込むことは取扱説明書では禁止されている。（　　）

③一般的な介護ベッドでは取扱説明書において、介護者が一緒に添い寝することを禁止している。（　　）

④ベッドの背を上げる前には膝を上げるが、これは少しでも腹部の圧迫を少なくするためである。（　　）

⑤キューマアウラベッド（パラマウント）やナチュラルラインベッドコア（シーホネンス）の２モーターベッドでは昇降機能の他に、ベッドの背上げと膝上げが同時に駆動される機能がついている。この背上げと膝上げ同時機能は起き上がりに背上げ機能を使用するときには不便である。起き上がりに背上げ機能を使いたいときには背上げと膝上げが別個に操作できるベッド（主として３モーター）にしなければならない。（　　）

【設問５】

起き上がりが困難になってきた時、次の起きあがり方で適応身体機能が高い順に並べよ。

①起きあがる側の肩関節を外転・内旋し、反対側の手でベッド柵をつかむ。ベッド柵を

引き寄せるようにしながら寝返りをし、肘と掌でマットレスを押し、頭を斜め前に持ち上げるようにして起きあがる。
②介助者が側臥位にし、ベッドの背を上げてから、介助者が頭の下と膝の下に手を入れて起きあがらせる
③仰臥位のままベッドの背を上げ、側臥位になってからベッド柵を利用して起きあがる。
④側臥位になり、ベッドの背を上げて、ベッド柵を利用して起きあがる。
（　　，　　，　　，　　）

【設問６】

寝返りが自分でできない人を対象に、３モーターのベッドを利用して介助者がベッドの背の操作をするとき、必ず行わなければならないことに○、間違っているものに×をつけよ。
①ベッドの背を上げて本人を起こすときは、まずベッドの背を上げ、ついでベッドの膝を上げ、また背を上げたら膝を上げるという動作を繰り返す。（　　）
②ベッドの背を上げる前に寝ている位置を確認する。（　　）
③ベッドの背を上げる前に本人を側臥位にしてから仰臥位にする。（　　）
④ベッドの背を完全に下げたら、本人を側臥位にしてから仰臥位にする。（　　）
⑤ベッドの背を目的の角度まで上げたら、ベッドの膝を平らにする。（　　）
⑥30～40 度程度背を上げたら、本人の体幹を前に倒す（骨盤を起こす）ような介助動作を行う。（　　）

【設問７】

マットレスに関する次の記述で正しいものには○、間違っているものには×をつけよ。
①繊維系のマットレスをレンタルしていたら、寒いのでマットレスの上に布団を敷いていた。ベッドの背上げ姿勢をとる人であり、端座位にもよくなる人だったので、布団をはずし、室温を上げるようにアドバイスした。（　　）
②ウレタン系のマットレスをレンタルしていたら、寝返りが自分でできる人なのにお尻が赤くなってきたと言われた。直ちにエアマットレスに交換することを勧めた。（　　）
③Ａ社の３モーターのベッドをレンタルしているのに、別のベッドメーカーＢ社のマットレスを使いたいと言われた。ＰＬ法（製造物責任法）の問題があるので、同一のメーカーの商品の中から選択するよう話した。（　　）
④ショールームに来たユーザーがいくつかのマットレスを試し、ウレタン製の軟らか目のマットレスの方が繊維系の硬い目のマットレスよりも起きあがりやすいと言う。本来硬い方が身体を動かしやすいはずだから、軟らかいマットレスは止めた方がよいとアドバイスした。（　　）
⑤今まで普通のベッドを使用していた人が電動ベッドを使うことになり、いろいろなマットレスを試したが気に入らないという。スプリングマットレスが欲しいと言ってきたが、電動ベッドにはスプリングマットレスはあわないことと市販品がないことを説明し、ウレタン系のマットレスを勧めた。（　　）

【設問８】

ベッドサイドテーブルに関する次の記述で正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。なお、すべて介護保険を利用したが、その妥当性も同時に考慮すること。

①やむを得ずベッド背上げ姿勢で食事をしなければならないという。寝室が狭かったことと、自分で食具を持ち食べることができる人だったので、片持ちのオーバーテーブル（パラマウントベッド　ベッドサイドテーブル KF-192）を勧めた。（　　）

②昼食の時間帯だけ移乗介助してくれる介助者を準備できないという。ベッドからの起き上がり介助は可能だというので、端座位テーブル（パラマウントベッド　介護テーブル KQ-550）を勧めた。（　　）

③ベッド上背上げ姿勢で食事をするのだが、テーブルに肘をついて体幹を支持すれば何とか自分で食べられるという。キャスターがついた門型のオーバーテーブル（パラマウントベッド　オーバーベッドテーブル KF-813）を勧めた。（　　）

④端座位をとりたいというが、座位バランスが悪く、数分で倒れてしまう。端座位保持テーブル（座ろうくん）をレンタルした。（　　）

２．床ずれ防止関連

【設問９】

褥瘡に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①褥瘡を作る原因はいくつかあるが、圧迫による圧縮応力・剪断応力・引っ張り応力の各応力の大きさと持続時間、頻度が大きな要因の一つである。引っ張り応力よりは圧縮応力の方が大きさが同じならより短時間で褥瘡を作りやすい。（　　）

②褥瘡を作る要因の一つにずれ力がある。（　　）

③湿度が低いと皮膚が乾燥して褥瘡を作りやすいので、褥瘡を作りやすい部位近辺では絶えず湿潤した雰囲気を整えるとよい。（　　）

④栄養も大きな要因の一つだから、食事はできるだけ脂質やコラーゲンの多い食物にする。（　　）

⑤褥瘡を発見したときは治療を優先するのは当然として、次に考えるべきは福祉用具による対応である。仙骨部周辺など骨突出部に褥瘡を発見したときは直ちにエアマットレスを中心とした褥瘡対応マットレスを導入すべきである。（　　）

⑥皮膚の発赤が見つかり、３０分以上免荷しても発赤が消えない場合は褥瘡という。（　　）

【設問１０】

床ずれ防止用具に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①踝に褥瘡を作ったので、褥瘡部分を完全に免荷できる小さな円座を勧めた。（　　）

②大転子部分に褥瘡が見つかった。原因を考えたが、ベッド上臥位では原因が見つからなかった（側臥位ではこの部分に負荷がかからないことが判明した）。しかし、作ったということはリスクがあるものと考えられるので、ひとまずエアマットレスを導入した。（　　）

③寝返りができる人なのに仙骨部に褥瘡が見つかった。やせている人だったので日中はベッドから離れて座位をとることを勧め、夜間の緊急対応としてエアマットレスを導入した。（　　）

④座骨部に褥瘡が見つかった。原因を探っていったら、移乗方法を最近トランスファーボードを使った座位移乗に変えたという。ひとまずリフト移乗に変更して様子を見ることを勧めるとともに、車いすクッションを治療期間中だけエアセルタイプに変更することを勧めた。（　　）

⑤身体全体に褥瘡のリスクが高く、かかと部のリスクが特に高いと判断されたので、テーパーセル（テーパーボトム）機能がついたエアマットレス（たとえばエアマスタービッグセル）を勧めた。テーパーセルとは足周辺のエアセルの左右が高く中央が凹んでいる形状をいう。（　　）

⑥褥瘡のリスクが高く、体重が比較的大きい割に臀部がやせている人で、ベッド背上げ姿勢をよくとる人だったので、背を上げたときに臀部空気圧を高めることができるタイプのエアマットレス（たとえばエアマスタートライセル）を勧めた。（　　）

⑦ジェルテックのアルファプラはリプレイスメントタイプの床ずれ防止対応マットレスであり、ジェルとウレタンを組み合わせたマットレスである。（　　）

⑧ハッピーおがわのそよかぜ（あんしんフルマットレス）はオーバーレイタイプの床ずれ対応マットレスで、通気性を特に重視したマットレスである。（　　）

⑨一般的にエアマットレスはリプレイスメント型として使用するが、ケープのエアマスターアクティは名前の通り比較的活動的な人が対象であることから、オーバーレイタイプである。（　　）

⑩パラマウントベッドのパラフロートマットレスは静止型の床ずれ防止対応マットレスであり、優れた減圧効果を持つウレタン製マットレスである。リプレイスメントタイプとして使用する。（　　）

３．車いす関連

【設問１１】

次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×を記入せよ。

①自走式車いすとは後輪が大きく手こぎが可能な車いすをいうが、後輪が大きい車いすでも、介助者用のブレーキがついていると自走用とは言わない。（　　）

②介助用車いすとは、一般的に後輪が小さく、本人が手でこげない車いすをいうと考えられているが、足こぎをする人がいるから、後輪が小さいだけでは介助用車いすとは言わない。（　　）

③介助用車いすには必ずドラム型の介助用ブレーキがついている。（　　）

④姿勢保持機能付き車いすとは、バックサポートに体幹の側方支持用のパッドがついていたり、座面にアンカーサポート機能がついている車いすをいう。（　　）

【設問１２】

次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①前座高とは床面から座面中央前端までの距離をいう。（　　）

②車いす測定の原点とは、シートパイプとバックサポートパイプ交点の前上端をいう。（　　）

③座角（座面角度）とはシートパイプ角度が鉛直線となす角度をいう。（　　）

④車輪径は一般的に呼び径といわれる「インチ」で表現されるのが慣習になっており、これは車輪の概略の半径である。（　　）

⑤バックサポート高さとは、シートパイプ後端からバックサポートパイプ上端までの距離をいう。（　　）

【設問１３】

次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①前座高と後座高を調節し、座角が変化したら、キャスター軸を調整し直さなければならない。（　　）
②骨盤が後傾しているユーザーの場合には、バックサポート角度を 90～95 度程度に調整する。（　　）
③円背のユーザーの場合には、座面奥行きを長めに調整する。（　　）
④手こぎで自走する場合には、後輪軸位置を上方、前方に調整する。（　　）
⑤足こぎの場合には座面奥行きを通常より若干短めに設定する。（　　）
⑥片手片足こぎの場合には座面角度は水平近辺に設定することが多い。（　　）
⑦バックサポート角度を大きくしたり、座角を大きくした場合には、後方への転倒の可能性が高くなるので、転倒防止装置をつけるか、後輪軸位置を前方に設定する。（　　）
⑧フットプレートの床からのクリアランスは施設内しか使用しないような場合には移乗方法に合わせるなど必要に応じて小さめ(低め)に設定してもかまわない。（　　）
⑨トランスファーボードやスライディングシートを利用した介助による座位移乗の場合には、後輪径が大きいと移乗のじゃまになるので、後輪径は小さめの介助用車いすにした方がよい。（　　）
⑩足関節に屈曲の可動域制限があり、伸展位になっている場合にはフットプレートを前方に移動させるように調整する。（　　）
⑪座幅は臀部の幅＋2～4cm が標準である。両手こぎをする人の場合は座幅はこぎやすさに影響を与える。（　　）
⑫座の奥行きは膝裏に 2～3cm 程度の余裕があるように調節するが、姿勢保持機能が低下している人の場合には短めに設定した方がよい。（　　）
⑬体幹バランスが悪い人だったので、バックサポート高さを高めに調節した。（　　）

【設問１４】

次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。
①脊柱起立筋の緊張が弱く、体幹が左右に倒れる。バックサポートにパッドを挿入してみたが、大きくは改善されない。パーカーコーポレーションの姿勢保持機能付き車いす、あるいはラックヘルスケアのネッティⅢを勧めた。（　　）
②手でこいで自走する人で、座面高さと角度を調節する必要があることから、REVO（ラックヘルスケア）で調整しようとしたが、小柄の人だったので座面の奥行きが長すぎた。バックサポートと背中の間にクッションを入れて調節した。（　　）
③平均的な体格の人で骨盤が後傾し、円背のユーザーに対して、松永製作所フルモジュール自走用車いす、およびラックヘルスケア REVO で調整してみたが、骨盤後部とバックサポートとの間に隙間が生じてしまう。これはいずれの車いすもバックサポート角度の調整範囲がこのユーザーには不足していることを示すものである。（　　）
④体格と比較して座面の奥行きが長すぎるときにも骨盤後部とバックサポートとの間に隙間が生じる。このような場合には座面の奥行きを合わせることが必要である。（　　）
⑤片まひの人で、体幹がまひ側に傾く。よく観察したら側わんも生じている。骨盤の左右高さを確認したら、まひ側が下がっている。側わん部分に座布団を挿入して体幹の傾きを抑えた。（　　）

【設問１５】

電動車いすに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①ヤマハ発動機製ジョイスティックタイプの電動車いすは、4.5km/h に設定されている。これは電動車いすの速度は一般的には最大 6km/h までだが、危険を考えて遅く設定されているためである。（　　）

②スズキのバーハンドル型四輪電動車いす（スズキセニアカー）２種類（ET-4A および ET-4D）、この相違は最高速が 4.5km/h と 6km/h の相違である。（　　）

③スズキモーターチェア（MC-16S）は最高速度 6km/h であり、ジョイスティックで操作し、連続走行距離 33km となっている。このことから見てもわかるとおり、この車いすは障害者用の電動車いすであり、身障手帳を所持していないとレンタルできない。（　　）

④スズキセニアカーなどのバーハンドル型四輪電動車いすはアクセルに相当するレバーを押せば走行し、停止するときはレバーを離せばモーターは停止し、自転車のようなブレーキ操作で減速する。（　　）

⑤手動車いすは道路交通法では歩行者と見なされるが、電動車いすは自転車と同様に軽車両とみなされる。（　　）

【設問１６】

クッションに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①アイ・ソネックスの FC アジャストは片手片足こぎをする場合には大腿部下のクッションの厚みを左右で変えることができる。（　　）

②ユーキトレーディングのソロストレータスは座骨部アンカーを作るときに、臀部の肉の付き具合に応じてアンカーの深さを変えることができる。（　　）

③ケープのデュオジェルクッションはシリコンジェルの量を変更することによって、座圧分散特性を調整することができる。（　　）

④アビリティーズ・ケアネットのロホクッションはエアセルタイプのクッションであり、ロータイプとハイタイプがあるが、この両者は座高を調整するために使い分ける。（　　）

４．歩行補助用具関連

【設問１７】

歩行車に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①いす付き四輪歩行車は車輪が比較的大きなものを使用しており、主として屋外で使用することを目的としているが、施設内などでも利用可能である。（　　）

②いわゆるシルバーカーといす付き四輪歩行車の大きな相違は、ハンドルが横型か縦型かということと、四輪で囲まれる基底面内に体重心が入るか入らないかの相違である。（　　）

③いわゆるシルバーカーのブレーキ構造といす付き四輪歩行車のブレーキ構造はまったくといってよいほどその特性が異なる。歩行速度を調節するためにブレーキを使用するときは後者の方がずっと使いやすい。（　　）

④いわゆるシルバーカーはきわめて歩行能力が高い人が使用するものであり、福祉用具というよりはショッピングカートのようなものである。このようなことからシルバーカーは介護保険では対象としていない。（　　）

【設問１８】

歩行器に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①ウォーカータイプの歩行器には、固定型と交互型がある。固定型は脚に小さな車輪がついており、フレームに肘をのせて、もたれるようにして歩行する。（　　）

②交互型歩行器は歩行器と足を交互に出すことからこのように呼ばれ、まず歩行器全体を持ち上げるようにして前に出したら、次に片足を出し、歩行器を出して、別な足を出すというような歩行をする。（　　）

③脚に車輪がついているタイプはいすがついていればいす付き歩行車として介護保険が認められるが、いすがついていないとリハビリテーション用具として医療保険の対象となり、介護保険では利用できない。（　　）

【設問１９】

Ｔ字杖の長さの決め方に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①床面から大転子までの長さ。（　　）

②床面から尺骨茎状突起までの長さ。（　　）

③杖先を足先の 15cm 前･外側についたとき肘関節が 30 度屈曲位になる長さ。（　　）

④上肢を下垂したときの手関節と肘関節の中間位置までの床面からの長さ。（　　）

⑤床面から上前腸骨きょくまでの長さ。（　　）

【設問２０】

杖類に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①片まひや片側に障害がある場合、杖類は患側につき、患側への体重を杖で支持する。（　　）

②片まひの２動作歩行とは、まず（１）健脚を前に出し、次に（２）患脚と杖を同時に前に出し、・・・という動作を繰り返す歩き方である。（　　）

③片まひの３動作歩行とは、まず（１）杖を出し、次いで（２）患脚をだし、次に（３）健脚を出すという動作を繰り返す歩行である。（　　）

④片まひの２動作歩行と３動作歩行では２動作歩行のほうがより高い歩行機能が必要となる。（　　）

⑤杖類を使用した歩行方法は格別な練習などはなくとも容易に歩けるから、理学療法士などから簡単な説明を受ければ十分である。（　　）

５．リフト関連

【設問21】

段差解消機に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①段差解消機のストロークについて 1m 以上の段差をクリアできる段差解消機が市販されている。（　　）

②建築基準法上段差解消機で解決できる段差は 800㎜ までなので、これを越える段差解消機は市販されてはいるが厳密に言えば違法商品である。（　　）

③据え置き式の段差解消機はプラットフォームに移動したら必ず直進方向にしか動けないので、家屋から最小でも 2m 程度のスペースが必要になる。（　　）

④据え置き式段差解消機はすべて電動ないしは電動油圧あるいは電動空圧で駆動されるので、周辺に家庭用電源がないと使用できない。（　　）

⑤据え置き式段差解消機は一番下げたときでも 60～100㎜ 程度の段差が残り、これをスロープで通過しなければならない。（　　）

【設問２２】

立ち上がり用いすに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①床面からの昇降機能がついているいすは介護保険の対象となるが、安楽いすに立ち上がり機能を付けたいすは介護保険の対象にならない。（　　）

②コムラ製作所独立宣言など床から昇降する立ち上がり用いすは一番下げたときでも 100～200㎜ 近くまでしか下げられない。したがって、座位移動などをしている人ではこの段差を越えられない場合があるので商品選択では注意が必要である。（　　）

③手足移動をしている人であれば、上述した段差はほとんど問題にならないといえる。（　　）

④アイシンベルチェアのような立ち上がりやすいリクライニング安楽いすは、立ち上がりを積極的に補助する機構がないので介護保険は対象とならない。（　　）

【設問２３】

移動用リフトに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①花岡車輌の移動サポートリフト　クイックレイザーは名称の通り立ち上がらせてキャスターで移動し、移乗介助を行うことができる。最大の利点は立ち上がらせる点にあり、パンツやズボン、おむつの着脱ができることから、排泄に関連して利用することができる。（　　）

②パラマウントベッドの床走行式電動介護リフト、および花岡車輌の多目的式床走行リフト・パートナーはいわゆる吊り上げて移乗介助するリフトの中で当社レンタル料金はもっとも安価である。（　　）

③上述した二つの床走行リフトはいずれもハンガー形状が一般的な山形とは異なり、フックの数も位置が異なることから専用吊具でなければ吊り上げることができない。（　　）

④モリトーの介護リフトつるべーＢセット、およびミクニのマイティエースはともにベッド固定型リフトと呼ばれるタイプであり、ベッドの重量を利用してリフトを安定させている。（　　）

⑤上述したベッド固定型リフトは個々に昇降軌跡が異なり、つるべーは円弧を描き、マイティエースは垂直に昇降する。（　　）

⑥つるべーはマストを中心に 360 度どの位置でも移乗可能であるが、マイティエースはベッド仰臥位位置と一方のベッドサイド周辺に移乗位置が限定される。（　　）

【設問２４】

リフトの吊具に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①脚分離型の吊具は座位では着脱できないので、車いすに移乗したときには敷き込んだままになる。（　　）

②ローバック（ハーフサイズ）とは頭の部分の支持がない吊具であり、この吊具で頭を支持したいときには別売のヘッドサポートを利用すればよい。（　　）

③脚分離型ハイバック（フルサイズ）４点吊りの吊具は、布団や平らなベッドから背を上げたり頭を持ち上げる介助をしなくとも直接吊り上げることができる。（　　）

④脚分離型吊具やトイレ用吊具は、股関節屈曲筋の筋力が十分にないと利用できないことが多い。（　　）

⑤入浴用にシャワーキャリーで座面だけが分離できるものがあるが、これは吊具よりは入浴用具に分類され、介護保険の入浴用具として購入されることが多い。（　　）

【設問２５】

いす式階段昇降機および入浴用リフトに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①クマリフトおよび中央エレベーター工業のいす式階段昇降機は、45 度以上の傾斜でも設置可能で概ね 50～55 度が限界である。（　　）

②いす式階段昇降機には直線、外回り、内回りがあるが、一般的な家屋で３階以上まで移動するには内回りでなければならない。（　　）

③いす式階段昇降機のレンタルはなく、すべて販売である。（　　）

④TOTO のバスリフトは適合浴槽に制限があり、浴槽長さが 1,100㎜以上ないと利用できないので１２×１６のユニットバスが限界である。（　　）

⑤介護リフトつるべーＦセットは浴室に設置できるが、マストを立てる際に床にビスで固定しなければならないので、介護保険は適用されない。（　　）

６．入浴補助用具

【設問２６】

シャワーキャリーに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①車いすと比較して、座位移乗はしにくい。（　　）

②四輪キャスター輪と後輪固定輪とを比較すると、後者の方が小さな段差を越えやすい。（　　）

③四輪キャスター輪と後輪固定輪とを比較すると、移乗時などの安定性は後者が優れ、回転性能は前者の方が優れている。（　　）

④座面は穴あき形状やシート、プレートなどがあるが、穴あき形状は陰部を洗いやすくしているのであり、排泄用途に利用できるものはない。（　　）

⑤リクライニングができるシャワーキャリーがあり、このタイプのひとつであるモリトー安楽キャリーは座面角度も変えられる。（　　）

【設問２７】

浴槽用手すり（浴槽の縁に固定して使用する手すり）に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①浴槽用手すりの役割は、浴槽へ跨ぎこしにより入るときに利用することが主たる目的となるが、座位で入るときにも体幹の安定によく使われる。（　　）
②浴槽用手すりの中には浴槽内において浮力を抑える用途で利用できるものがあり、このタイプは浴槽の内側に取っ手がついている。（　　）
③握り手が浴槽の縁と平行についているタイプと直角の方向を向いているタイプがあるが、浴槽に入るときに横向きに跨ぎ越すか正面から跨ぎ越すかによって使い分ける。（　　）
④股関節や膝関節に屈曲制限があると、正面からの跨ぎこしがやりやすい。（　　）
⑤浴槽用手すりは浴槽の縁を挟んで固定するので、プラスティック浴槽では使うことができない。（　　）

【設問２８】

入浴用小物類に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。
①浴槽から立ち上がりにくくなってきたら、浴槽内に滑り止めを敷くと立ち上がりが容易になることが多い。（　　）
②バスボードの基本的な使い方は、さし渡したボードに後ろ向きに腰掛け、身体を 90 度回転させて足を浴槽内に入れ、静かにお湯に浸かったあと、ボードを跳ね上げるか取り外す。このときに介助者が必要になることが多い。（　　）
③上述した動きは浴槽の横に置いたいすに座って入る動作と基本的には同じである。したがって、この場合と同程度の身体機能が必要になる。（　　）
④浴槽内にいすを置きこれに座って暖まると、浮力の影響を受けにくくなり、安定して入浴できる。しかし、多くの場合肩まではお湯に浸からない。（　　）
⑤浴室内にすのこを敷いて段差を解消する場合には、すのこの目は出入り口と直交するように置く。（　　）
⑥すのこは掃除しやすいように洗い場より小さめに設置する。（　　）

７．排泄関連用品

【設問２９】

失禁に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。
①骨盤底筋訓練は溢流性尿失禁に効果がある。（　　）
②機能性尿失禁は特に女性に多い失禁のタイプであり、くしゃみをしたりしたときに腹圧がかかったりするとわずかに漏れる場合に予想されるタイプである。（　　）
③残尿感が絶えずあり、少しずつ漏れるような失禁の場合は、まずは泌尿器科への受診を勧める。（　　）
④頸椎損傷などによる排泄障害では、収尿器が大きな効果を発揮する。特に男性ではシース型と呼ばれるペニスに直接装着する採尿器とそれに接続された蓄尿器（袋）がよく利用される。（　　）
⑤尿に関する排泄障害は蓄尿の障害と排尿の障害に大きく分けられる。切迫性尿失禁は蓄尿障害である。（　　）
⑥夜間２回以上、日中８回以上排尿するような状態は一般的に頻尿と呼ばれる。（　　）
⑦正常な排便とは１日に２回以内で、毎日排便している状態をいう。また、便秘とは毎

日排便していない状態を意味する。すなわち、２日に１回以上の間隔があいている状態を指す。（　　）

【設問３０】

便座・便器に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①便器からの立ち上がり動作だけを見れば、和式便器より腰掛け便器の方が容易だが、排便姿勢を考えると、和式の蹲踞（そんきょ）の姿勢の方が排便しやすいので、身体機能が低下した高齢者だからという理由で安易に和式便器を腰掛け便器に変更しない方がよい。（　　）

②腰掛け便器から立ち上がりにくくなったときには昇降便座を利用すればよいが（たとえばTOTOの簡易昇降便座）、座面が高くなるので健康な家族が使いにくくなることがあるので、注意が必要である。（　　）

③TOTO の簡易昇降便座は便座を垂直に昇降させる場合と斜めに昇降させることが簡単に切り替えられるが、リウマチの場合には垂直昇降させ、膝関節変形症の場合には斜めに昇降させるのが原則である。（　　）

④便座に腰掛けてお尻が痛いという場合にはいくつかの理由が考えられる。そのうちの一つは骨盤が後傾していて体重が後方にかかっている姿勢である。前方に手すりなどを準備して体幹を前傾させる姿勢にすれば痛みが緩和することがあるし、排泄がしやすい姿勢になる。（　　）

⑤お尻が痛い場合の一つに、やせていて、座骨が穴にはまりこんでしまって痛い場合がある。このような場合には穴が小さめの柔らか便座を利用すると緩和されることがある。（　　）

【設問３１】

車いす利用者が一般的なトイレを利用する場合に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①立位がとれない車いす利用者は、上肢機能がよくても、一般的な家庭にある１畳のトイレ（内寸780×1,600程度で正面から便器へアクセス）は段差がないとしても利用することはできない。（　　）

②上記のトイレではトイレキャリーを利用すれば大便だけでもトイレを利用することが可能だが、便器へ横からアクセスするようなトイレでは開口部を広げないとキャリーが回転しきれないことが多い。（　　）

③トイレキャリーを使う場合の最大の問題は途中で失禁してしまう場合だが、根本的な解決策がなく、おむつをあてながら移動するような方法しかない。（　　）

④リフトの中で立位をとらせるタイプ（たとえば花岡車輌の移動サポートリフト　クイックレイザー）を利用できる身体機能であれば、車いすから立位をとらせ、パンツやおむつを立位で脱がせることができるので、かなり容易にトイレを利用することができるが、問題はこのリフトを操作するスペースがトイレの外の廊下部分にあるかどうかであり、トイレ内では狭いながらも利用可能なことが多い。（　　）

⑤トイレにリフトを設置して、車いすから直接便器へ移乗する方法も考えられるが、この場合には身体機能によっては吊り上げてパンツを脱がせることは可能であっても、事後パンツをはかせることが容易ではなく、一般的にははかせるときはベッドへ戻って臥位ではかせる方法がとられる。（　　）

【設問３２】

ポータブルトイレに関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①移乗動作や座っているときの安定だけを考えればポータブルトイレは重い方が安定感があると言える。（　　）

②ポータブルトイレをベッドサイドで使用するときは、車いすと位置が取り合いになることが多く、移動させる必要があることがある。このような場合には四輪キャスター輪がついているタイプやコモードと呼ばれる四脚のいす型トイレ（たとえばシャープエンジニアリングのらくらくポータブルトイレ）にするとよい。（　　）

③ポータブルトイレは基本的に高さ調整をして使用するものだが、排便姿勢を考え、また立ち上がりの容易さを考えて、かかとが浮く程度の高さに設定する。（　　）

④立ち上がって移乗する人の場合には蹴込みと呼ばれる足を引くスペースが足下に必要になる。（　　）

⑤スライディングシートを使って座位移乗する人の場合には、安定しているポータブルトイレでないと危険であることとともに、座面と便座が一体になっているタイプの方がでこぼこが少なく、お尻の感覚がよい。（　　）

⑥スライディングシートを使って座位移乗する人の場合にはベッドの昇降機能が必要である。したがって車いすからポータブルトイレや一般的なトイレへはこの移乗方法は採用できないことが多い。（　　）

⑦家具調のポータブルトイレは普段いすとしても利用できるので、離床の促進にも役立つ。（　　）

⑧一般的に排尿の場合は２～３回分溜めてから捨てるので、１回あたりの排尿量を確認しておいた方がよい。（　　）

⑨排泄後お尻を拭く介助は立位をとらせて行うことが一般的だが、立位をとれない場合には、ポータブルトイレ上座位で行うが、足を一杯に広げさせて前から行うので股関節の可動域が問題になる。（　　）

【設問３３】

尿器に関する次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×をつけよ。

①溲瓶は男性用と女性用とで商品が異なる。（　　）

②溲瓶は排尿ごとに尿を捨てるが、このときこぼしやすい場合には、こぼさないように工夫された溲瓶もある。（　　）

③採尿器と蓄尿器が別で、チューブでつなぐコンビウェルネスの安楽尿器は主としてベッド上臥位で使用し、尿意がある人が主たる適応である。（　　）

④上記安楽尿器は高低差を利用して尿を蓄尿するので、蓄尿器の位置が高かったり、採尿器からチューブが高い位置を通ると、尿漏れを起こす可能性が高くなる。（　　）

⑤上記のような尿漏れを防ぐために強制的に尿を吸引するタイプとしてパラマウントベッドのスカットクリーンがあるが、これは利用者が尿意を感じたらスイッチを押してポンプを始動させてから排尿しないと尿漏れを起こす可能性がある。（　　）

８．靴関連

【設問３４】

次の記述の内、正しいものに○、間違っているものに×を記入せよ。

①靴を足に合わせる場合には、足長と足幅（足囲）両方を合わせるのが原則である。両者を計測して適合する靴を探すことが原則である。（　　）

②かかとの後ろ部分にヒールカウンターというしっかりした硬い構造があるが、これは靴を履くときにかかとが崩れないように配慮したものである。（　　）

③糖尿病の人はちょっとしたことで靴ずれを起こし、痛みに気がつかなかったりし、皮膚の傷が治りにくい特徴があるので靴選びは特に慎重にする必要がある。（　　）

④片まひでまひ側に短下肢装具をつけている場合には、靴の大きさが左右異なっていなければならない。このような左右でサイズの異なる靴は市販されていないから、サイズの異なる靴を２足購入しなければならなくなる。（　　）

⑤車いすを利用していて歩けない人は可能な限り履かせやすい靴がよく、室内履きのような軟らかくて履かせやすい靴を選ぶ。（　　）

福祉用具（１５６満点）

１．ベッド関連　２９点満点

【設問１解答】①○　②×　③×　④○
『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問２解答】 ①×　②×　③×　④○　⑤×
『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問３解答】 ①○　②○　③○　④×
『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問４解答】①○　②○　③○　④×　⑤×
『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問５解答】１，　３，　４，　２　　『すべて正解で３点のみ』

【設問６解答】①×　②○　③×　④○　⑤×　⑥○
『すべて正解で５点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問７解答】①○　②×　③×　④×　⑤×
『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問８解答】①○　②○　③○　④○
『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

２．歩行補助用具関連　１５点満点

【設問９解答】①×　②○　③×　④×　⑤×　⑥○
『すべて正解で５点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問１０解答】①×　②×　③○　④○　⑤×　⑥○　⑦○　⑧○　⑨○　⑩○
『１問１点』

３．車いす関連　３４点満点

【設問１１解答】①×　②×　③×　④×
『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問１２解答】①×　②○　③×　④×　⑤×
『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』
【設問１３解答】①○　②×　③×　④×　⑤○　⑥○　⑦×　⑧○　⑨×　⑩×
⑪○　⑫×　⑬○　　『１問１点』
【設問１４解答】①○　②×　③○　④○　⑤×　　『１問１点』

【設問１５解答】①○　②×　③×　④×　⑤×　　『１問１点』

【設問１６解答】①○　②×　③×　④×　　『１問１点』

４．歩行補助用具関連　１４点満点

【設問１７解答】①○　②○　③○　④○

『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問１８解答】①×　②×　③×

『すべて正解で２点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問１９解答】①○　②○　③○　④×　⑤×

『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問２０解答】①×　②×　③○　④○　⑤×　　『１問１点』

５．リフト関連　２１点満点

【設問２１解答】①○　②×　③×　④×　⑤○

『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問２２解答】①×　②○　③○　④○

『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問２３解答】①○　②○　③×　④×　⑤○　⑥○

『すべて正解で５点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問２４解答】①×　②○　③○　④×　⑤○　　『１問１点』

【設問２５解答】①○　②○　③○　④×　⑤×

『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

６．入浴用品関連　１３点満点

【設問２６解答】①○　②○　③○　④×　⑤○

『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問２７解答】①×　②○　③○　④×　⑤×

『すべて正解で４点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問２８解答】①○　②○　③○　④○　⑤×　⑥×

『すべて正解で５点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

７．排泄関連　２５点満点

【設問２９解答】①×　②×　③○　④○　⑤○　⑥○　⑦×　　『１問１点』

【設問３０解答】①×　②×　③×　④○　⑤○

『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問３１解答】①×　②○　③×　④○　⑤○　　『１問１点』

【設問３２解答】①○　②×　③×　④○　⑤○　⑥○　⑦×　⑧×　⑨×

『すべて正解で７点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

【設問３３解答】①○　②○　③○　④○　⑤×

『すべて正解で３点，１問間違えるごとに－１点で、０点まで』

８．靴関連　５点満点

【設問３４解答】①○　②×　③○　④×　⑤×　　『１問１点』